

# 第20号 市議会報告

習志野市議会議員  
相原 かずゆき

<http://aihara1002.com/>

■発行日：平成28年4月9日



討議資料

こんにちは、相原和幸です。まちの満開の桜を見るとまた新たな年度のスタートという大きな節目を感じます。市議会も新たな新年度予算が審議されました。

平成28年 習志野市議会 第一回定例会が2月22日から3月24日まで行われました。平成28年度予算審議をはじめ37議案の審議を行い、平成28年度一般会計当初予算は、6百6億9千万円が賛成多数で可決されました。中でも新庁舎建設工事費として、約64億円（63億8千7百14万8千円）の歳出（支出）となり、一般会計予算が、600億円を上回る大きな要因でした。今年度も、限られた予算の最大の効果と創造的歳入（収入）の増加を実現できるよう、市議会で提案及び指摘をして参ります。

また、平成28年度においては、特定健康診査及び胃がん検診への予算も拡充され、これまで私が主張してきた特定健康診査受診率の向上及び、がん検診受診率の向上に向かうことを期待しているところです。なお、国民健康保険に加入されている方の特定健康診査及びがん検診受診率の向上が、実現できれば、市民の健康寿命は引き上げられ、早期発見、早期治療につながり医療費にかかる費用の縮減につながります。また市民サービスのための費用の増加にもつながるものと確信しております。

是非、今まで特定健康診査受けられていた方をはじめ、これまで特定健康診査を受けられていない方も、今年度からは、受診されることを切にお願い申し上げます。

相原和幸

■所属会派 **輝く習志野をつくる会**  
■所属委員会 ○議会運営委員会 ○文教福祉常任委員会 ○農業委員会  
■特別委員会 ○一般会計予算特別委員会(副委員長) ■その他任意団体 議員団(団長)

プロフィール  
●昭和46年10月 誕生 ●習志野市立鷺沼保育 ●習志野市立鷺沼小学校 ●習志野市立第三中学校 ●千葉県立船橋古和釜高等学校 ●東洋大学 経営学部 経営学科 卒業  
●平成22年10月印刷会社 退職 ●平成23年4月習志野市議会議員(初当選) ●平成27年4月習志野市議会議員(2期目当選)  
スポーツ・趣味  
●剣道：地元「剣友会」で小学5年生まで ●書道：小学1年生から中学3年生まで ●バスケットボール：現在も地元で活動中 ●音楽鑑賞：ジャンルを問わず和太鼓演奏なども所属団体  
●習志野市消防団 第三分団 ●習志野市青少年相談員 ●習志野ロータリークラブ

習志野市議会議員 相原和幸 連絡先 〒275-0014 習志野市鷺沼1-11-14 自宅Tel・Fax：047-453-2918  
携帯電話：090-2478-7979 e-mail: [aihara1002@outlook.jp](mailto:aihara1002@outlook.jp) ホームページ <http://aihara1002.com/>

今回は平成28年 習志野市議会 第一回定例会(3月2日)に 一般質問を行いました。その一部を掲載いたします。詳しくはインターネット習志野市議会 議会中継をご参照願います。

安全な道路環境について

( 質 問 )

鷺沼中央跨線橋南側の鷺沼2丁目クリオレジダンス津田沼前の横断歩道には信号機が未設置であり、横断者の安全を確保するためには、鷺沼中央跨線橋側にある既存の信号機を移設してはどうか。

( 回 答 )

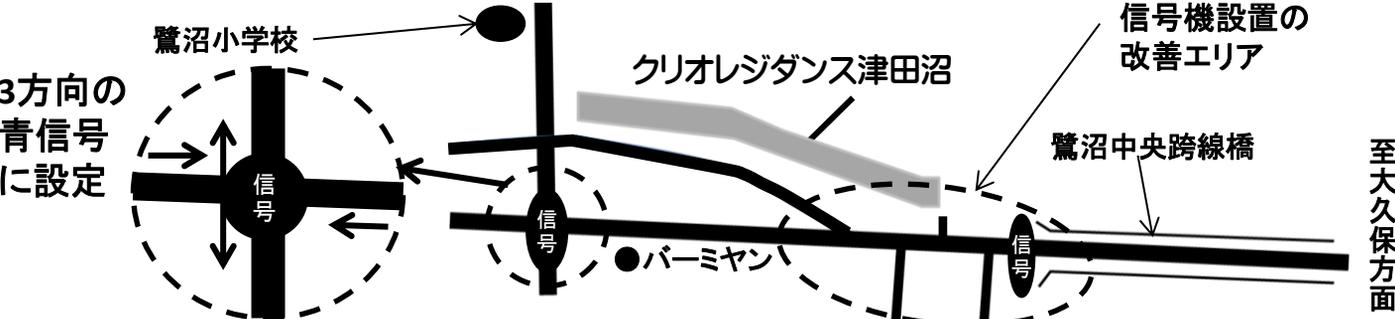
中央跨線橋寄りの横断歩道の利用の状況等も調査した上で、今後、習志野警察署と協議していく。

( 質 問 )

近隣の鷺沼小学校下交差点については、朝の通勤時間帯に鷺沼中央跨線橋から市役所方面への右折車両の滞留によって交通渋滞が発生しているため、新たな渋滞対策が出来ないものか。

( 回 答 )

市長からの要請もあり習志野警察署及び千葉県警察本部と協議を重ねたところ、千葉県警において交通量調査を実施し、新たな対応策を検討して頂けることとなった。その検証結果として、鷺沼中央跨線橋と国道14号との間の南北方向について、南行き、北行きの1方向ごとに分離し、東西の市役所前通りと合わせて3通りの交通の流れとすることで、渋滞緩和へ一定の効果が期待できるとの回答があった。このことから本市として、対策が早期に実現されるよう、千葉県警察本部へ要望していく。



魅力ある子育て支援策について

( 質 問 )

子育て世帯にとって何が必要かを調査したところ、子育て支援策のひとつとしてベビーカー、チャイルドシートの購入サポートを行う一部の自治体があった。現代はインターネットで簡単に検索ができる。習志野市においては、現在チャイルドシートの助成などは行っていないが、子育て日本一を掲げる本市にとって、今まさに子育て世帯が、このまちで育てたいと思うきっかけになるのではと考えるが、市としてどのような見解か。

( 回 答 )

まず近隣市の状況では、チャイルドシートについては、松戸市では、リース料金の助成を行っており、野田市、流山市は無料貸し出しを行っている。一方、ベビーカーについては、同様のサービスを行う自治体の情報は無い。本市については、ベビーカーやチャイルドシートに対する購入費用の助成や貸出等は現在行っていない。今後については、待機児童の解消やひとり親や所得の低い方々への支援など、広く子育て施策の充実に努めていきたいと考えている。現時点で、このような事業を実施する予定はない。